

平成23年第1回（1月）臨時会

東伊豆町議会議録

平成23年 1月26日 開会

平成23年 1月26日 閉会

東伊豆町議会

平成23年第1回東伊豆町議会臨時会会議録目次

第1号（1月26日）

○議事日程	1
○出席議員	1
○欠席議員	1
○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	1
○職務のため出席した者の職氏名	1
○開会の宣告	3
○町長あいさつ	3
○教育長就任あいさつ	4
○開議の宣告	5
○議事日程の報告	5
○会議録署名議員の指名	5
○会期の決定	6
○議案第1号 平成22年度東伊豆町一般会計補正予算（第6号）	6
○閉会の宣告	18
○署名議員	19

平成23年第1回東伊豆町議会臨時会会議録

議事日程(第1号)

平成23年1月26日(水)午前9時30分開会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第1号 平成22年度東伊豆町一般会計補正予算(第6号)

出席議員(12名)

1番	内山 慎一 君	2番	飯田 桂司 君
3番	村木 脩 君	5番	藤井 廣明 君
6番	森田 礼治 君	7番	西村 弘佐 君
8番	鈴木 勉 君	10番	山本 鉄太郎 君
11番	八代 善行 君	12番	居山 信子 君
13番	定居 利子 君	14番	山田 直志 君

欠席議員(なし)

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	太田 長八 君	副町長	鈴木 新一 君
教育長	金指 善郎 君	総務課長 兼 防災監	田村 正幸 君
企画調整課長	吉野 竹男 君	税務課長	石原 邦彦 君
住民福祉課長	西尾 清 君	健康づくり課長	木田 和芳 君
健康づくり課 参事	中村 健司 君	観光商工課長	稲葉 彰一 君
建設産業課長	上嶋 智幸 君	建設産業課官	山口 誠 君
教育委員会 事務局 会長	齋藤 容一 君	消防長	平山 隆 君
水道課長	鈴木 秀人 君	会計管理 者 兼 課長	鳥澤 勇 君

職務のため出席した者の職氏名

議会議務局長 鈴木 弥一 君 書 記 岡田 賢一 君

開会 午前 9時30分

◎開会の宣告

○議長（八代善行君） 皆様、おはようございます。

開会前に御連絡いたします。

本日の議会全員協議会の開催時間につきましては、臨時会終了後に開催する御案内をしてございましたが、議案審議後に休憩をとり全員協議会を開催いたしますので、御承知願います。

それでは、改めまして、おはようございます。

平成23年東伊豆町議会第1回臨時会の開会に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

議員各位におかれましては、公私ともに何かとお忙しい中、御出席を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本臨時会には、子宮頸がんワクチン接種並びに伊豆スカイラインキャッシュバックに伴う一般会計補正予算案が上程されております。

議員各位におかれましては、十分御審議の上、円滑に議事を進行されますようお願い申し上げます。開会のごあいさつといたします

ただいまの出席議員は12名で、議員定数の半数に達しております。

よって、平成23年東伊豆町議会第1回臨時会は成立いたしましたので、開会いたします。税務課長主張のため欠席の通知を受けております。代理出席は税務課長補佐です。よろしく願います。

◎町長あいさつ

○議長（八代善行君） 町長よりあいさつをいたします。

町長。

（町長 太田長八君登壇）

○町長（太田長八君） 皆さん、おはようございます。

平成23年第1回臨時会を招集申し上げたところ、議員各位におかれましては何かと御多

用中にもかかわらず御出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

町民並びに議員各位におかれましては、2011年の穏やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

また、元旦マラソン大会には多くの町民が御参加をいただき、新年を祝うとともにすがすがしく力走していただき、感謝しております。

また、本年1月11日付で金指善郎教育長が就任いたしましたことを御報告させていただきます。金指教育長には教育行政全般にわたり手腕を発揮していただきたいと存じますので、議員各位におかれましても御支援を賜りますことをお願いいたします。

さて、本臨時会につきましては、緊急やむを得ないものと判断し一般会計の補正予算を編成いたしました。保健事業関係での子宮頸がんワクチン接種につきまして国の補助制度を活用し、23年度に中学1年生から高校1年生の希望者に接種するように予算計上いたしますが、現在の高校1年生についても22年度中に1回か2回接種し、6カ月後に3回目を接種する体制をとることが望ましいと判断いたしました。

次に、観光事業関係での、雛のつるし飾りまつりに合わせて、自家用車等での来遊者各位に対して伊豆スカイラインの通行料のキャッシュバック制度を復活し、利便性の確保とスカイラインの利用率向上を図ってまいりたいと存じます。

それぞれの事業において緊急的に補正予算を編成して対応してまいりますので、よろしく御審議願います。

暦の上では春とはいえ、これから寒さは厳しく気温の変化が目まぐるしい時期を迎えます。町民並びに議員各位におかれましては、気候の変化に体調を崩さぬよう健康に御留意いただき、御活躍を祈念申し上げまして、臨時会開会でのごあいさつとさせていただきます。

◎教育長就任あいさつ

○議長（八代善行君） 次に、教育長より就任後初めての議会ということで、就任のごあいさつを求められておりますので、これを許可いたします。

教育長。

（教育長 金指善郎君登壇）

○教育長（金指善郎君） おはようございます。

上がり症なものですから失礼いたします。

去る1月11日付で、飯田前教育長の後任として教育長を拝命いたしました金指善郎と申します。

私は常々、人間は身の丈に合った生活をするのが心の安定、安心につながると考えておりました。ところが、このたびは私の身の丈をはるかに超えた大役で、不安と心配で心がつぶれそうでございます。

皆様には多々御迷惑をおかけすることになろうかと存じますが、町長のおっしゃるみんなが安心して暮らせるまち、笑顔があふれるまちづくりを目指し、微力ではございますが精いっぱい努力をする覚悟でございます。

つきましては皆様の御協力、さらには御指導、御鞭撻をも賜りますようよろしくお願い申し上げます。

はなはだ簡単ではございますが、就任のごあいさつとさせていただきます。失礼しました。

○議長（八代善行君） 金指教育長におかれましては、さらなる教育行政の発展に御尽力いただけますようお願いいたします。

◎開議の宣告

○議長（八代善行君） それでは、これより、直ちに本日の会議を開きます。

◎議事日程の報告

○議長（八代善行君） 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付いたしましたとおりであります。

議事日程に従い、議事を進めます。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（八代善行君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により、5番、藤井議員、14番、山田議員を指名いたします。

◎日程第2 会期の決定

○議長（八代善行君） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（八代善行君） 御異議なしと認めます。よって、会期は本日1日と決定いたしました。

◎日程第3 議案第1号 平成22年度東伊豆町一般会計補正予算（第6号）

○議長（八代善行君） 日程第3 議案第1号 平成22年度東伊豆町一般会計補正予算（第6号）を議題といたします。

町長より提案理由の説明を求めます。

町長。

（町長 太田長八君登壇）

○町長（太田長八君） ただいま上程されました議案第1号 平成22年度東伊豆町一般会計補正予算（第6号）について提案理由を申し上げます。

今回の補正予算は既定の歳入歳出予算の総額に189万3,000円を追加いたしまして、歳入歳出予算の総額を49億102万7,000円とするものでございます。

補正内容といたしましては、歳出においては県からの補助を受けて高校1年生を対象に実施いたします子宮頸がんワクチン接種経費と緊急誘客対策として県の伊豆スカイライン割引社会実験とのタイアップを図るため、伊豆スカイライン通行料キャッシュバックに伴う町観光協会補助金を計上させていただきました。

財源といたしましては、県支出金及び財政調整基金からの繰入金で調整を図った内容であ

ります。

詳細につきましては総務課長より説明いたさせますので、よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（八代善行君） 総務課長。

○総務課長兼防災監（田村正幸君） それでは、ただいま提案されました議案第1号 平成22年度東伊豆町一般会計補正予算（第6号）につきまして、概要を御説明いたします。

平成22年度東伊豆町の一般会計補正予算（第6号）は、次に定めるところによります。

（歳入歳出予算の補正）第1条 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ189万3,000円を追加いたしまして、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ49億102万7,000円といたします。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」によります。

恐れ入りますが、3ページ、4ページをお開き願います。

歳入について御説明をいたします。

まず、16款県支出金、2項県補助金、3目衛生費県補助金。補正前の金額に79万5,000円を追加し、871万円といたします。

2節保健衛生費補助金、細説5子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金79万5,000円は、県から2分の1の補助を受けまして高校1年生を対象に子宮頸がんワクチン接種を実施するものでございます。

19款繰入金、3項基金繰入金、2目財政調整基金繰入金。補正前の金額に109万8,000円を追加し、1,069万8,000円といたします。

1節財政調整基金繰入金、細説1財政調整基金繰入金109万8,000円の増は、今回の補正におきまして財源不足額を補てん措置いたしました内容でございます。

次に、歳出について御説明をいたします。

4款衛生費、1項保健衛生費、2目予防費。補正前の金額に159万3,000円を追加し、1,978万4,000円といたします。

事業コード7子宮頸がんワクチン接種事業、13節委託料、細説1子宮頸がんワクチン接種委託料156万円は、歳入でも申し上げましたとおり、県からの補助を受けて高校1年生を対象に子宮頸がんワクチン接種を実施するものでございます。

次に、6款商工費、1項商工費、3目観光費。補正前の金額に30万円を追加し、2億

1,947万4,000円といたします。

事業コード1 地域観光振興対策事業、19節負担金補助及び交付金、細説1 町観光協会補助金30万円の増は、緊急誘客対策の一環として県が実施しております伊豆スカイライン割引社会実験にあわせて、伊豆スカイライン通行料のキャッシュバックを実施するものでございます。

恐れ入りますが、2ページへお戻り願います。

歳入歳出補正予算事項別明細書でただいま御説明いたしました内容を総括してございます。

まず、歳入ですが、補正前の額48億9,913万4,000円に189万3,000円を追加いたしまして、49億102万7,000円といたします。

次に、歳出ですが、補正前の額48億9,913万4,000円に189万3,000円を追加いたしまして、49億102万7,000円といたします。

次に、補正額の財源内訳ですが、特定財源の国県支出金を79万5,000円、地方債、その他財源はゼロで、一般財源を109万8,000円といたします。

以上、簡単でございますが概要説明とさせていただきます。よろしく御審議願います。

○議長（八代善行君） これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

2番。

○2番（飯田桂司君） 商工費の関係で、今、町長、それから総務課長のほうからスカイラインのキャッシュバックということで説明、金額的な説明があったわけですがけれども、1月18日ですか、河津のバガテル公園で県知事が来まして、「平太と語ろう」ということでお話があったわけですがけれども、県知事の冒頭のあいさつの中で、17%の伸び率だよということでお話がありました。なるほどなと私は思いました。車の量等どのぐらいあるかなということ、はっきりした数字はわからないわけですがけれども。

町長にちょっとお願いしたいのは、135号線、東伊豆道路を通過して赤沢を過ぎましてパチンコ屋さんがある手前に、横に、国道に上り側から見える、下りも見えるわけですがけれども、上りだけ見える。200円、通行料の御案内があるわけですがけれども、それに木が覆いかぶさっているわけなんです。これは皆さんもずっと、職員も議員も見てわかっておると思いますがけれども、200円が見えないわけです。

町長はそれを知っていると思いますけれども、土木事務所、管轄が違いますけれども、ぜひこの30万円については私は問題ないと思います。しかし、やはり御案内するあれだけの看板がある以上は、やはり目についたらしっかりと対応していく、町長として。この東伊豆

町だけではないと思います。河津もそう、下田もそう、あの200円の数字が見えないんです。

今日仕事の終わって、何か時間がありましたらぜひ見てくださいよ。昨日や今日の話ではないんです。もう1年も前から見えないんです。それがしっかりと把握ができているのか、その点をちょっと1点お聞きしたいと思います。

○議長（八代善行君） 町長。

○町長（太田長八君） 赤沢のところに関しましては見えないことは確認しておりますが、私、蛍光板がありますよね、あそこに。あの蛍光板のほうにはスカイラインも出てくるんですよ。多分皆さんはそっちを見て、そのままインターチェンジを通るものはね、だから知事の話の中で、今言われたものは行政区域は違いますけれども、やはり知事からその200円キャッシュバックしたその効果が見えないということは、もう私は新年のあいさつに行ったとき並びに6市6町の首長会議のすぐ最初に言います。その中でこの1月から3月のまた効果を見た中で、この社会実験は継続するかどうかを判断するということを言われておりますもので、そうすると今回緊急的なことで、この30万円を計上させていただきました。

この30万円以外にも、ほかに看板が、東伊豆町の看板といたしましてお客さんが来るところ、例えばアニマルキングダムとか文化公園のつるし飾りの館、そういうもろもろのところに、ワニ園とかそういうところに、一度町としてはスカイラインの200円、これ看板を立ててまいります。

そうすると、今、飯田議員が言われたこと、これ行政区域は違いますけれども、これはもう伊豆全体のことでですから、一応、伊東のほうに投げかけて、バス代ですね、それはすぐ言ってやってもらいます。これは強く、やはり伊東の人もよくわかっていますもので、強く切ってくれということは言っていきたいと。

やはり、このスカイラインに関しましてはやはり温度差があるんです。基本的に一番恩恵を受けているのはうちと伊東でございます。その中で河津、下田、あと南伊豆、この辺はみんな135号を通るのもありますけれども、ほとんど天城へ行ってしまうもので、その辺、河津町長と話してもやはり、河津から下田方面、これはもう基本的には天城に行くと思うので、そのスカイラインをどうなんだか厳しいよということは言われておりますけど、できるだけこの1月から3月いっぱい、スカイラインの利用料を上げていきたいと考えておりますので、議員各位におかれましても、また、町民の方にこれをPRしていただければありがたいと思います。

今の飯田議員の提案は、すぐに伊東に言うておきます。

以上です。

○議長（八代善行君） 質疑ありませんか。

14番。

○14番（山田直志君） まず、子宮頸がんワクチン、これは「等」だと思います、ほかのものもあわせるから、問題は委託先、委託料だけ計上されていますけれども、委託先ということで事業実施という形の医療機関等々は具体的にはどういう形になったのかということについて、お聞かせをいただきたいというのが1点でございます。

2点目に観光協会の補助金の関係なんですけど、実を言うと僕は別にこの200円、低額というのは大賛成ですし、一番最初からそういうことを言ってきたというふうに自負しているんですけど、いいことなんですけど、ただこの時期のスカイラインはあんまりよくないですよ。自分もやっぱりフロントにいて、この時期の伊豆スカイラインというのは本当に紹介しにくいですよ。すぐに路面凍結だとか、降雪注意とかそういう看板が下のほうに出てしまうもので、旅館のフロントとすると、特に今言うように土木事業所のあれが違うということもあって、この道路情報というのはちゃんと入らないといけないし、一番あんまり教えたい時期ではないのではないのかなと。

全般としては、県の考え方と観光協会が、戦略的には僕はあそこでうんとやることはいいことだと思うんですけども、非常に苦戦した中だろうとはいってもこの時期にやっても、実際本当に何日通れるのかなと、不安なく通れるのかなということを見ると、非常にここはやはり難しい問題がある。

町長が言われたように、温度差の問題も聞いているんですけども、ただ、これもやっぱり受け取る旅館等々のほうでも温度差が大分あるようだというふうに私は見ているんですけども、やっぱりキャッシュバックということでいうと、200円なりを旅館が払う、またそれについていえば、補助金をまた協会なりにもらってくる、こういうキャッシュバックの部分の事務の煩雑さというのは1件、1カ月に1台しかそういうことがなくてもやらなければならない煩雑さというのがあるんですよ。

この辺の問題を考えますと、先ほども町長が言われたように、伊東と東伊豆がもう少し、例えば道路公社なんかと無料券にしてやって、あらかじめもう県で判こをやって、それで使わなくなっただけいいわけではないですか。使った分だけ後で精算をすとか、もっとやっぱり対応の仕方というのがあるんじゃないかなと。煩雑なために旅館ではお知らせをちゃんとしていないというところもあるのではないかなというふうにも、私は見ているんですよ。

だから、そういう点でいうと、両方の、特にやっぱり一番影響を受けるのは東伊豆と伊東なんで、そういったことをもう少し戦略的に生かすやり方はあるような気がします。これは今年だけの問題ではないと思うんで、今後そうしていくためには、もっともっと一番影響がある1市1町で協力するということが必要だと思いますし、当面この30万円ということであれば、1,500台ということになるんだと思うんですけれども、この辺のところについていうと、やっぱり心配というのは道路状況なので、そういう点もちゃんとしないと、親切にしたつもりが必ずしも親切にならないというのが、あそこの陰になっているところなんかずっと凍っているようなところもあるわけです。そういう点はやはり配慮して取り組まれる必要があるのではないかと思います。

○議長（八代善行君） 町長。

○町長（太田長八君） 今のそのスカイラインの関係、山田議員の言っていること、この時期に本当にスカイラインは凍結もして大変厳しいということはわかります。これはやるときにもその道路状況や、担当が道路状況はこういう状況だということは、やっぱり通行する人には知らしめることは必要だと考えていますので、その辺はやっていきたいという中で、今度はこちらに関しましては、一応200円うち町が半分、そして旅館組合が半分、要するに100円を町が見て、また旅館の方が100円見る中でこの予算編成をさせていただいております。

だから、基本的にはもう知事は何回も言うように17%、我々は17%もすごいと思っているんですけれども、知事の考えは17%、これしか伸びないのかという中で、来年の新年度予算にはもう計上しないとはっきり、ニュアンス的には、言葉にはっきり言いませんけれども、多分ニュアンス的にはそういうことを感じております。要するに、この1月から3月にかけてある程度の利用者台数が伸びなければ、もうこれは新年度予算にはのせないということをお外におおわせておりますもので、そうすると、基本的にはこの町も、また伊東市、河津町も困りますのでそういう中で、今回こういう行動を起こさせていただきました。

本当は、山田議員が言っておりますように、この時期スカイラインは凍結で大変厳しい、大変危ない状況の中で、その辺はちゃんと利用者に対しましては、一応道路状況は確実に知らせていきたいと思っておりますし、山田議員がやっている旅館においても温度差がありますもので、その辺は努めて温度差をなくすように、なるべくその利用料を増やしていただきまして、この予算がまた県の新年度予算に反映するような方向で、市としてもできるだけそういう継続できるような方向で対応していきたいと考えております。

これで、一生懸命やった中で知事がだめだということはこらへしようがないですが、ある

程度のことをやった中で、やらないと新年度予算を切られるということもあると思うので、ある程度地元として従属した中でやっていきたい、そういう考えでやっておりますのでよろしくお願ひいたしたいと思ひます。

あとの子宮頸がん、この辺は事務局の方から答弁させます。

○議長（八代善行君） 健康づくり課長。

○健康づくり課長（木田和芳君） 子宮頸がんの接種の委託先はという御質問なんですけれども、集団接種の対象者につきましては稲高生になるわけなんですけれども、集団接種につきましては賀茂医師会と委託契約をさせていただきます。

それから、そのほかの個別接種につきましては、町内の病院、東伊豆ファミリークリニックと東部病院と熱川クリニックと豊寿園病院の4病院と委託契約をさせていただきたいと計画しております。

以上です。

○議長（八代善行君） 14番。

○14番（山田直志君） ちょっと言っていたいてわかりました。

知事のほうも、私どもの印象的には唐突に、これも急に決まったようなところもあって、今言ったような感じだと、なかなか受け入れの態勢が必ずしも十分ではなかったかもしれないという点は、この間の知事のお話を聞いていて思ったんですけれども、やっぱり実験をしていく、1年やってみて、その上で反省し、また、改良して充実をさせて、どうしてもダメならというのは町長が今言われるとおりになんだけれども、その点ではまだまだ取り組みについて改善の余地が残っているんだと思う。ぜひまた、今後もこの点はやって、もう少し縦貫道だとかすべて、早川から熱海にかけての渋滞がなくなるということはないかもしれませんが、勘案をして、道を通していく、お客さんの流れを新たに創出していくという点では、非常に有効なところですから、ある資源を活用していくという点でも有効な活路なので、決して、短期短命短絡で、1年やった、だめだからよしなんていうようなことではないと思うので、ぜひ知事のほうにもそういう点で、やったけれどもやっぱり改善すべき点があるよと、もっと本当は伸ばせますよというようなことも含めて、ぜひ生かしていただくように今後も努力していただきたいと思います。

○議長（八代善行君） 町長。

○町長（太田長八君） 今、山田議員の言った、これはもう町が当然努力することはある。

前、ある議員が一般質問の中で、縦貫道ができたもので、今度は箱根のほうの案内看板、

この辺も充実させなければいけないと考えておりますので、この辺はまた知事の方に提案していきたいと考えております。何せ知事は大変厳しいもんですね、やっぱり一旦こう決めるとなかなかそれを覆すのは大変なものですから、今それを大変苦勞しているところでございます。

我々は17%伸びたからこれは大したもんだなと思っているんですけども、知事はその思い入れに対して17%ではまだまだ足りないということ、やっぱりその思い入れが全然違いますもんで、また知事には伊豆の現状を訴えていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（八代善行君） 質疑ありませんか。

7番。

○7番（西村弘佐君） すみません。

その件、町長も今関連してお話がありましたし、私はこの間、知事のときに、スカイラインが出たら申し上げたいなというふうに思っていたんですが、残念ながらそういう雰囲気はなかったものですから。

先ほど、河津とか下田の市長さんたちが余り関係を持たないというのは大きな認識不足です。といいますのは、駿河湾道路ができたんです。そうしまして、1,000円高速だから客が来ないとか、2,000円高速だからまずいとか、そんな愚痴ばかりこぼしていないで、海コースと山コースにすればいいんです。

私は実は、このごろ旅館は東京案内所とかいう出先機関がないものですから、たまたま私に関連する北川で1軒ありますから、そこのセールスマンにヒントを与えておいたんです。といいますのは、まず、沼津まで出てきなさいと。そして、塚原からスカイラインに通るように。今は富士が非常にきれいで、関西の人は富士山が見えたら大体50%は喜んで帰られます。しかし、東北、北関東の富士山を遠くから見ている人たちは、行政の中心が東京にあるためか、なかなかこっちまで出てきませんけど。やはり、私どもが秋田に行って鳥海山を見た。ああ、すてきな山だなというように、向こうの人にも夢を与えなくてははいけないから。そうになったら、まず、沼津まで来なさいと。そして、足柄のサービスエリア、これはもう御存じでしょうけれども、随分中が変わってサービスエリアの非常に雰囲気が出て、テレビなんかでもよくやっていますから、そこでゆっくりして、沼津から、今度は伊豆スカイラインは天上遊覧コースと、天空遊覧コースとして説明しなさいと、そのように伝えたんです。一部、町の観光協会のほうにも軽く伝えましたけれども、やはりそういう研究するというこ

とも必要なんです。そうすれば、下田だって河津だって、あの辺こう通って、中伊豆の山の中ばかり通ってくるのが能ではないわけです。お客様もコースによってはルートが変更されますので、もし何かがありましたらそういう方法を、そうすると山コース海コースで、山を見ながら伊豆へ入って私どもの町へ来て、海を見ながら帰ると。これは今まで何といいたいでしょうか、厚木からでしたら、厚木から来ると小田原のところで箱根新道なんか通っても富士山なんか余り見えませんから、それほどぴんとこなかったんですが、やはり沼津のインターから東駿河湾道路を通過して箱根峠からスカイラインに入ってくる、こういうのが非常にいいコースだと思います。

やはり予算はそれなりにつけていくわけですが、予算を生かすのも受ける側の大きな課題でもありますから、組合なり観光協会はそういう方面もしっかり検討して、どうしたらこのコースが生かせるか、これは必要なことだと思いますので、余分ではございますがちょっと申し上げておきます。

○議長（八代善行君） 町長。

○町長（太田長八君） 今、西村議員から提案されました、私もその辺はちょっと考えない。

これはまた協会とかが提案した中で、その2通りの案は、高速とか安くなるというから東から来る人は沼津まで来てもらう、これは時間的なこともありますもので、その2案をある程度、こういう案だ、厚木から入る案と沼津から来てスカイラインを通った中でということ、そういう2案を提案したらどうかという、ほとんど今は東のほうの方は厚木からも入ってくると思うんです。そういう中で西村議員がそういうことを提案されたもので、その辺、こういうコースもありますよということはまた案内の、職員にそういうコースを説明させる、そういう方向でまたいきたいと考えておりますので、よろしく願いいたしたいと思います。

○議長（八代善行君） 12番。

○12番（居山信子君） 先ほどの子宮頸がんの質疑がございました中で、関連で伺いたいところがございます。

先ほど、委託先、事業実施の関係等御説明がありましたけれども、稲高生対象ということですが、何名の稲高生1女子対象ということで、何名の女子になりますでしょうか。

あわせて、さまざま報道もある中でこの子宮頸がんワクチンについての問題点も指摘をするところがございます。そういう意味で、しっかりとした説明会等がどんなふうな形で行われているのか。

また、他市、町におきましては、全額こういった形で当町のように本人負担というふうな

負担なしというふうな形はなく、若干個人的な負担があるというふうなところもございます中で、当町全額負担なしというふうなことでの取り組みは大変ありがたいというふうに思います。しかしながら、そのワクチンを受けただけでは今後予防というふうなことはなりません。しっかりと健診も受けていかなければなりませんし、合わせて3回の接種をして初めて効果が得られるものだと思います。その辺の説明会等がどのように行われているのか、国・県の補助がなくなっても今後も継続して当町においてはこのワクチンは実施されるというふうなことを確認したいというふうに思います。

○議長（八代善行君） 町長。

○町長（太田長八君） 人数的なことは、事務的なことは課長から説明させますけれども、基本的には六十何人の中で基本的に稲高生も半分近くということで、さっきも言ったように集団は稲高と、稲高におきましては1月の、日にちははっきりわかりませんが、課長のほうから答弁させます、一応説明会をいたしました。これは生徒とかに説明した中で、この子宮頸がんワクチンを受けてくださいということは稲高の生徒は集めてやりました。しかし、他校にいる生徒に関しましてはなかなか集めることができないもので、ワクチンする段階によってその必要性とか、そのことをやっていきたいと考えています。とりあえず稲高生に関しましては、とりあえず説明させました。

その中で継続性のこと、これは町は来年、再来年やっておきますし、もう1回やった以上、国・県の助成がなくても町単でもやらざるを得ないかなと事務者は考えておりますので、引き続きこれは町としてはやっていきたい、そういう考えでございますので御理解願いたいと思います。

人数的なことは、ちょっと課長のほうから答弁させます。

○議長（八代善行君） 健康づくり課長。

○健康づくり課長（木田和芳君） 接種対象者ですけれども、今年度に限っては高校1年に相当する年齢の方ですので、65名が対象者になりまして、うち、稲高生は34名になります。

それから、説明会の要領なんですけれども、今年に限って高校生ということで、本人にうちの保健師が稲高に出向きまして、子宮頸がんワクチンの必要性等をビデオとかパンフレットで説明をしました。保護者につきましては、説明文を保護者に郵送してその辺の説明をしております。

以上です。

○議長（八代善行君） 12番。

○12番（居山信子君） そうしますと、稲高生にはできるけれども、他校に通っている子供にできないというふうなことになりますでしょうか。そうではない。

（何事か言う声あり）

○12番（居山信子君） はい。

今回そういう形で、特に稲高生に日にちを決めて実施したというふうなことかと思いますが、また次の機会にというふうなことで他校の人たちに対するそういう説明はなされるというふうなことで理解してよろしいでしょうか。

○議長（八代善行君） 町長。

○町長（太田長八君） 稲高生に関しましては、これは集団で集められるもので、これはやっておりますけれども、今回時間的な余裕がなかったもので、他校の生徒も今後その辺の説明をしていきたいと考えておりますけれども、今回に関しましては、とりあえず集団での説明は稲高生だけで、あとは文書の通知はこれは各家庭にやっております。ただ、集団での説明ということでは今回稲高生。新年度になりまして、今度は他校に行っている生徒に対しても、どのようにやったらいいかとか検討していきたいと思っておりますので、今回は時間がなかったということで稲高生が1番最初に集団の説明会。しかし、他の生徒、対象者に対してはこの文書では通知しておりますもので、御理解願いたいと存じます。

○議長（八代善行君） 質疑ありませんか。

鈴木議員。

○8番（鈴木 勉君） 先ほどのキャッシュバックのほうの話でちょっと聞きたいんですけれども、僕は町のほうの対策については、こういう形というのは推進していくべきだろうと思っているわけですが、桜まつりの誘客の考え方の中で、やはり渋滞に巻き込まれての時間のロスというものが非常にネックになって、この当町に宿泊する人たちが減少しているという、そういう現場の声もあるわけなんですよね。ですから、桜まつりに来ていただく人たちに対しての形も大事なんですけれども、やはり宿泊業は年間を通じての事業なわけですよね。ですから、1年を通じてこのキャッシュバックの対策、これについてその現場の、ホテル、旅館の人たちの考え方、これをどのように活用して自分たちの宿泊に効果があるようにしていくのかと、そういう声についてはどのように町長は聞いているのか、お聞きしてみたいと思っております。

それから子宮頸がんのワクチンについては、学校生という名前を使っているんですけれども、私は同じ年代層の、どこの学校に行っても東伊豆町の住民に、この年齢層にはやりますよと

いう声が聞こえてこなかった。稲高生という形の中での限定をしていくのはちょっと私たちの聞き方によっては下田から、他町村から来ている人たちだって稲高生ではないかと、そういうちょっと誤解があるわけです。そこの説明もよろしくお願いします。

○議長（八代善行君） 町長。

○町長（太田長八君） まずキャッシュバックの関係。これは旅館のほうも宿泊者に関してはキャッシュバックを利用してきたという大変そういう声も聞いているので、これは継続してやっていく必要の中でこれは一つの町に来るメリットとしてこの辺はPRしていきたいと考えている中で、町のほうも大変4月に打ち切られると困るという中で、では我々も身銭を切るから町もそれ相当の半分を見てくれないかという中で、今回このキャッシュバックのことを議会のほうに提案させていただきました。

観光協会、町のほうもこのキャッシュバックに関しましては継続してやっていただきたい、そういう中で一つの活性化の中でやっていきたいと考えております。

桜まつりに関しましても、この辺は、いろんなところに200円のキャッシュバックにつきましては言った中で、これバスになれば大変、使えば本当に安くなりますし、渋滞に関しても緩和されますもんで、この辺は大きくまた協会のほうに言って、観光会社のほうにはPRしていきなさいということを提案していきたい、そう考えております。

子宮頸がんに関しましては、基本的には東伊豆町民の高校生、一応平成6年4月2日から平成7年4月1日生まれの女子、高校に行っていない子もいいです、基本的には東伊豆町民、住民である方はすべて受けられると、そう解釈していただければありがたいと思います。

以上です。

○議長（八代善行君） 質疑ありませんか。

（発言する人なし）

○議長（八代善行君） 質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（八代善行君） 討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより議案第1号 平成22年度東伊豆町一般会計補正予算（第6号）を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（八代善行君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。
皆様にお知らせいたします。

ただいまから、議会全員協議会を開催いたしますので、議員並びに関係者は4階の大会議室に集まるようお願いいたします。

暫時休憩いたします。

休憩 午前10時11分

再開 午前11時45分

○議長（八代善行君） 休憩を閉じ、再開いたします。

◎閉会の宣告

○議長（八代善行君） 以上で本臨時会に付議された案件の審議はすべて終了いたしました。

平成23年東伊豆町議会第1回臨時会を閉会したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（八代善行君） 御異議なしと認めます。

よって、平成23年東伊豆町議会第1回臨時会を閉会いたします。

どうも皆さん、ありがとうございました。

閉会 午前11時45分